TAC アグリナビ
JA津安芸 未来へ夢…発信
vol.16
H31. 2. 22

いつもＪＡ津安芸をご利用頂きありがとうございます。
ＪＡ津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に
少しでも役に立つ情報をお届けさせて頂きます。

暖かくなる時期、べと病 に注意！

べと病

【生態】べと病は*葉菜類(ネギ･ホウレンソウなど)やウリ類(キュウリ･カボチャなど)ブドウ*に広く発生する病気です。糸状菌(カビ)による病気で、発病適温は13～20℃と比較的低く、発芽適温は10℃前後です。主に葉の裏表にある気孔から侵入します。肥切れや草勢の衰えた時期には感染しやすくなります。

【症状】一般的に、始めは葉に輪郭が不明瞭な淡黄色の斑点ができ、症状が進むと斑点が拡大して斑点同士がつながり、葉の一部または全体に広がることがあります。症状は主に下葉から発生し、徐々に上の葉に広がります。
また、斑点ができた部分の葉裏にはすす状のカビが生えることがあります。

べと病(ネギ)

【防除】
・密植を避け、排水を良好にし、加湿にならないよう注意します。
・敷きわらやビニールマルチにより土壌からの感染を抑えることができます。
・薬剤はべと病が発生し始める時期の直前から、予防的に散布を始めると高い効果が得られます。べと病は葉の表裏から進入するので、薬剤も葉の表裏に散布することが大切です。

べと病有効薬剤

協友フェスティバル®水和剤

・べと病に高い効果
・予防効果に治療的効果
・経済性に優れコスト削減

アリエッティ水和剤

・浸透移行性に優れる
・予防効果に優れる
・ホウレンソウに使用できる少ない農薬

アミスター20フロアブル

・天然生理活性物質由来
・予防効果に優れる
・収穫前使用日数が短い
・散布適期が長い

※適用作物、使用量、使用回数については注意して散布お願いします。